

富士見市における資源化率（リサイクル率）について

2025.10.31 星野メモ

実績と推計値

単位トン/年

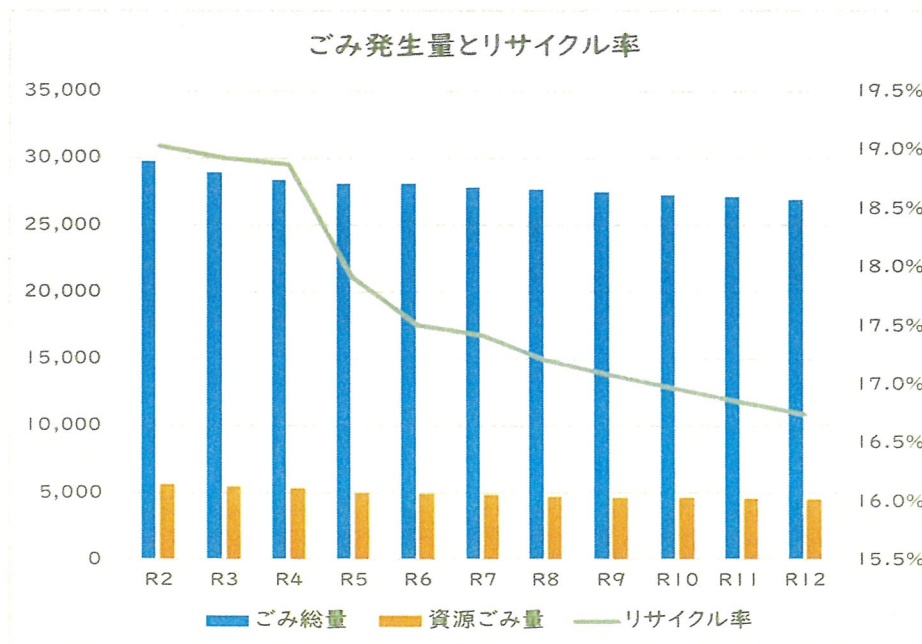
年度	ごみ量			うち資源ごみ			資源化状況	
	家庭系ごみ	事業系ごみ	ごみ総量	資源ごみ	集団回収	資源ごみ量	リサイクル率	資源化率
R2	25,003	4,789	29,792	4,732	939	5,671	19.0%	16.4%
R3	24,171	4,756	28,927	4,590	887	5,477	18.9%	16.4%
R4	23,734	4,631	28,365	4,517	837	5,354	18.9%	16.4%
R5	23,004	5,110	28,114	4,296	740	5,036	17.9%	15.7%
R6	22,784	5,317	28,101	4,206	714	4,920	17.5%	15.4%
R7	22,439	5,347	27,786	4,180	660	4,840	17.4%	15.4%
R8	22,305	5,376	27,681	4,154	610	4,764	17.2%	15.3%
R9	22,077	5,404	27,481	4,130	563	4,693	17.1%	15.3%
R10	21,856	5,433	27,289	4,107	521	4,628	17.0%	15.3%
R11	21,640	5,461	27,101	4,085	481	4,566	16.8%	15.3%
R12	21,431	5,490	26,921	4,064	444	4,508	16.7%	15.3%

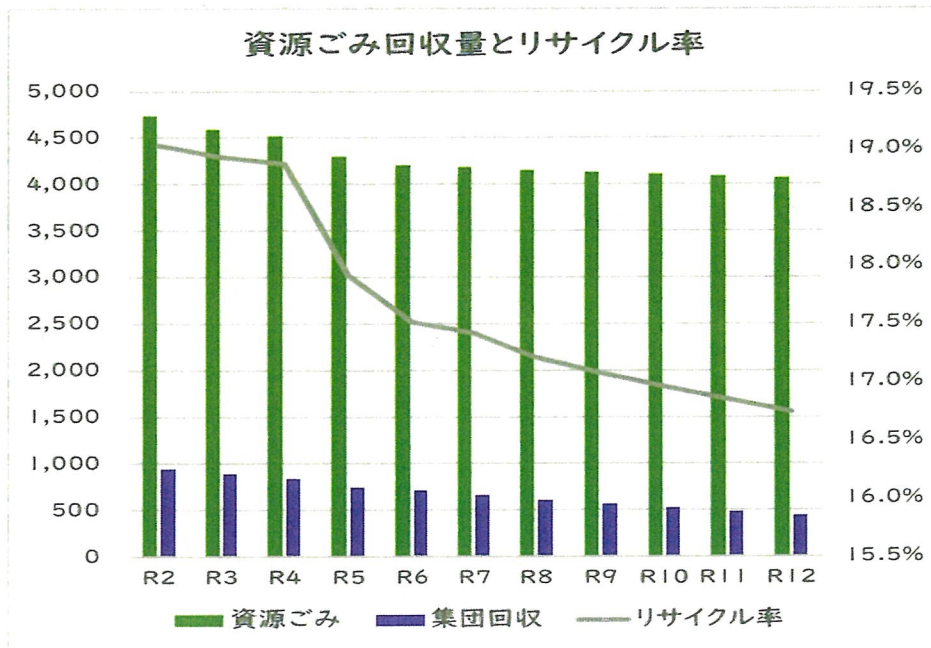
$$\text{リサイクル率 (\%)} = \frac{\text{自治体資源ごみ回収量} + \text{集団資源ごみ回収量}}{\text{自治体ごみ回収量} + \text{集団資源ごみ回収量}}$$

$$\text{資源化率 (\%)} = \frac{\text{自治体資源ごみ回収量}}{\text{自治体ごみ回収量}}$$

\*富士見市一般廃棄物処理

基本計画ではリサイクル率を資源化率としている。





OR12のリサイクル率(富士見市の資源化率)を19.0%にするには?

推計16.7%から2.3ポイント高める 資源化量を600トン強増やす必要がある。

$$\text{リサイクル率 (\%)} = \frac{\text{自治体資源ごみ回収量} + \text{集団資源ごみ回収量}}{\text{自治体ごみ回収量} + \text{集団資源ごみ回収量}}$$

**【マイナス要因】**

- ① 容器等の減量化 (ビンの減少、PETの軽量化)
- ② 店頭回収の増加 (⇒回収量が把握でき、集団資源ごみ回収に加算できればプラス要因)  
⇒基本的には良いことなので促進すべきもの。ただし、何もしなければ、行政のリサイクル率は下がるという矛盾がある。
- ③ 高齢化による集団資源ごみ回収量の低下

**【プラス要因:必要な対策】**

- ① 分別のさらなる徹底による資源ごみ量の増加 (例:雑紙の分別回収)
- ② 回収ごみのガス化の推進と資源ごみ量としてのカウント
- ③ 集団化回収の回復対策 (例:インセンティブの増加、シニアミドル層の取り込み、業界との連携)